

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 古里安幸SAA委員長

◆四つのテスト 尾本久男さん

◆ご来訪ロータリアン

## ◆会長挨拶 中西祥之会長



皆さんこんにちは。一昨日の日曜日に、プラザ大村で開催された「社会奉仕セミナー」に、久田松さんと柳さんと出席してきました。このセミナーは、「ロータリーとして地域社会の課題をいかに解決に導き奉仕につなげるか」というタイトルで開催され、長与町長などの講演や、大村市長も加わってのパネルディスカッションが行われました。議題は、部活動の地域移行事業でした。部活動の地域移行について皆様はご存知でしょうか？実は私は、今年の10月まで12年間、長崎市の教育委員を務めてきましたので、この部活動の地域移行について多少なりとも知っておりますので、今日は簡単にそのご説明をしたいと思っております。部活動の地域移行というのは、公立中学校の部活動について、学校(教員)が主体となって行うのではなく、地域の団体が主体となって行う活動に移行していこうというものです。この背景は、大きく分けると2つあって、1つは、少子化、もう1つは、教職員の働き方改革です。すなわち、少子化によって学校単位では部員が不足して大会などに参加できない、あるいは部員数が少なくて廃部の危機に直面しているところがあるということ。また、忙しい教職員を部活動から解放することによって負担を軽減させようということです。実際、令和5年度の中総体では、17校中8チームが合同チームで参加しており、休部又は廃部が予定されている部活は、令和5年度は8つ、令和6年度は5つということでした。ただ、現段階では、すべての部活動について学校ではやらない、地域でやる、ということにするわけではなく、まずは中学校の、休日の部活動についてのみ地域に移行させようとしています。長崎市では、令和9年度の6月から9月には、休日は完全に地域クラブ活動に移行することを予定しています。セミナーでは、大村市長から、大村市の教職員にアンケートをとったところ、部活動をやりたいと答えた人は約3割程度だったそうです。また、ロータリアンでもあるリープラス株式会社の社長さんによると、同社では

名古屋市を中心に、すでに多数の自治体から部活動の業務を受託しているそうです。部活動の地域移行は、少子化や教職員の働き方改革からすれば必要なことだろうとは思いますが、他方で、部活動は教育の一環ではないか、だとすればそれは学校が主体的にやるべきではないかとも思います。また、部活動を地域移行した場合の実施主体について、長崎市では、スポーツクラブなどの団体又は保護者会を予定しているようです。ここで問題となるのは、部活動中に怪我をしたなど何か問題が発生した場合です。スポーツクラブなどの団体や、講演されたような企業に委託するのであれば、団体や企業で対応することになるので良いのですが、保護者会が実施主体となった場合には、保護者会が責任を負うことになりかねません。自治体としては、このあたりの説明をきちんとしていく必要があると思います。

## ◆幹事報告 久田松春樹幹事

### ①例会変更並びに休会の件

長崎みなとRC 12/17(火)忘年例会の為マルシェドリッシュ

〃 休会 12/24、12/31 定款第7条第1節により

### ②理事会報告 ◆事務局後任の件

◇これまでの経過と現状についての確認→「雇入通知書」

「労働条件通知書(定年前)」「事務局員雇用条件変更案

(定年後)」、「長崎西ロータリークラブ職員退職金規定」、

「2021-2022～2023-2024決算書」を配布、内容を確認した

◇条件について協議 次回の理事会で、細かい規定について協議する(雇用保険、残業、昇給、有休等)

### ◆40周年実行委員会進捗状況の件

◇記念誌作成の進捗状況について(柳部会長)・必要な原稿は今週中(11/8)までにほぼ揃う → メンバで一斉に校正

に入る → 12月中の完成、配布へ

## ◆結婚・誕生・入会祝い 11/17～11/30



### 【結婚祝】

田中豊俊さん



◆期首会員数

35名

◆入会者

0名

◆退会者

0名

◆現在

35名

◆11/26例会出席

15名

◆免除者出席

4名

◆欠席

20名

◆出席率

48.39%

卓話

JR九州ホテルズアンドリゾーツ(株)

上席執行役員 総支配人

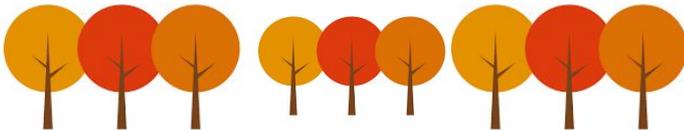
吉満啓一郎さん

「長崎のまちと共に、次の百年を」



◆ニコニコ箱

- 中西祥之さん 吉満さん、本日はありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。
- 島田靖彦さん 田中さん!!久しぶりです。私との約束を果たしてくれてありがとう。12月も頑張るね!!
- 江上徹也さん 先週の合同例会、欠席しましたのでお詫びの気持ちです。
- 水本由幸さん一昨日の夢のこと。中西会長の飼犬が不埒にも布団に入ってきた。おまけに粗相を始めたので思っきりひっぱたいたところで目が覚めました。「呵々」
- 柳龍一郎さん 先日の日曜日、会長、幹事と研修会に出席してまいりました。お疲れ様でした。
- 田中豊俊さん 久しぶりに参加させていただきました。



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	11/26	22,000円	累計	390,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	11/26	7,000円	累計	84,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	11/26	6,000円	累計	96,000円

◆ハイライトよねやま 296号

5年ぶりの韓日親善会議で韓国学友会がアピール

10月24日、第16回ロータリー韓日親善会議がソウル市内にて開催され、約800人が参加しました。実に5年ぶりの開催となった今回、韓国米山学友会が初めてブースを出展し、7人の米山学友が出席。本会議では、朴在泳会長(1995-97/仙台泉RC)が日韓のロータリー会員に向けてスピーチを行い、米山記念奨学事業と韓国米山学友会について紹介しました。また、同学友会の黄セミさん(2001-02/東京南RC)が会場内の同時通訳を担当しました。同学友会がブースを出展したのは、数カ月前に学友会について知った、という韓国ロータリー韓日親善委員会の朴鍾健副委員長から出展依頼があったことがきっかけ。韓国では、韓国米山学友会の存在や、現地日本人留学生への奨学金支給といった同学友会の活動を知る人はかなり少ないそうで、朴副委員長は「素晴らしい活動ですし、私たちロータリーが目指す姿にふさわしいと感じ、ぜひこの機会に多くの方に知ってほしいと思い依頼しました」と、韓国のロータリー会員へのアピールに期待を寄せました。まずは知ってもらうための第一歩を踏み出した今回、朴会長のスピーチを聞いた韓国のロータリー会員からは、「初めて知ったが、素晴らしい活動」「今後何らかの支援ができれば」といった声が上がりました。朴会長は「少しでも多くの方に知ってもらうため、韓国ロータリーと積極的に連携していきたい」と、意気込みを語りました。

第2530地区 初の「学友ナイト」開催

11月2日、国際ロータリー第2530地区(福島県)が地区大会の開催に合わせ、第1回目となる学友ナイトを開催しました。郡山市内の会場には27人の米山奨学生・学友、同地区の早川敬介ガバナー、吉田喜一地区米山記念奨学委員長、当会学友委員会委員長の石黒秀司氏のほか、ロータリー会員や、青少年交換、ロータリー財団奨学生、ライラリアンといったロータリーの複数のプログラムの学友など、約70人が集いました。参加した現役米山奨学生の林リン明輝メイキさん(2024-25/二本松あだたらRC)は「新しい出会いがあり、良い経験になりました。また次回も参加したいです」と述べました。歓談後はカラオケルームに移動し、学友たちが熱唱。初の学友ナイトは大いに盛り上がりました。